

自立支援機器普及啓発促進事業

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部
企画課 自立支援振興室

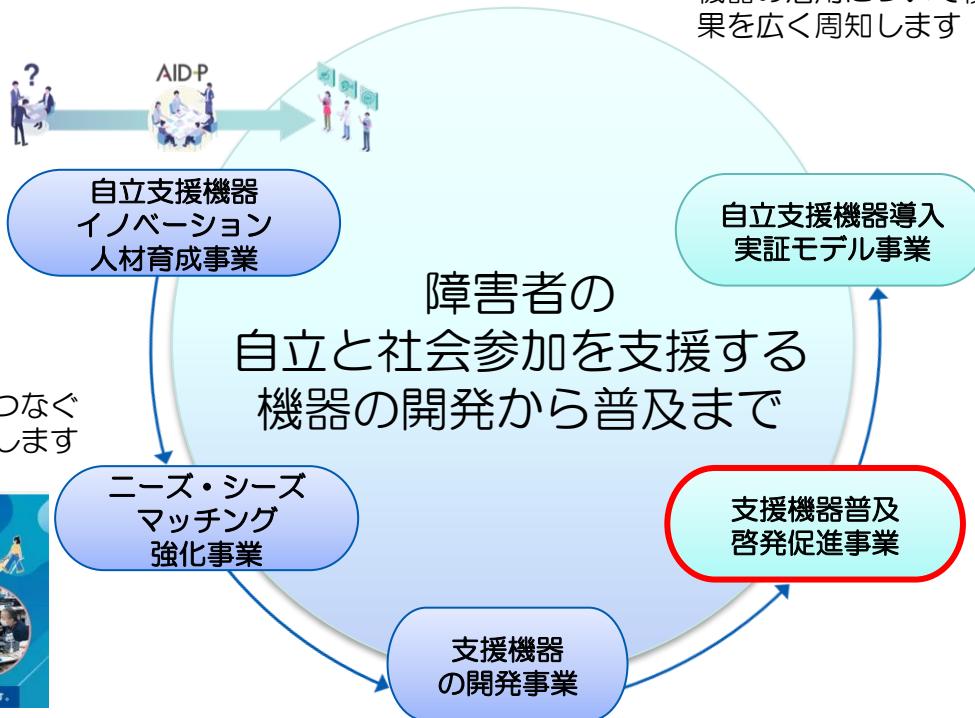
福祉工学専門官 中村美緒



障害者自立支援機器等開発促進事業



障害者、医療福祉専門職、開発者等を対象に、開発プロセスを体系的に学ぶワークショップを開催します



現場のニーズと技術のシーズをつなぐためのマッチング交流会を開催します



支援機器の開発をする企業に対し、開発補助を実施します

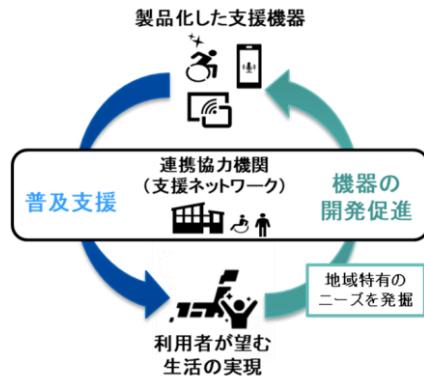


障害の程度や働く環境に応じた支援機器の活用について検証し、その効果を広く周知します



写真提供：テクノツール株式会社

全国の「連携協力機関」を通じて、支援機器を必要とする障害者の手に届くよう支援します



令和7年度予算（令和6年度繰越分含む）：2.3億円

厚生労働省

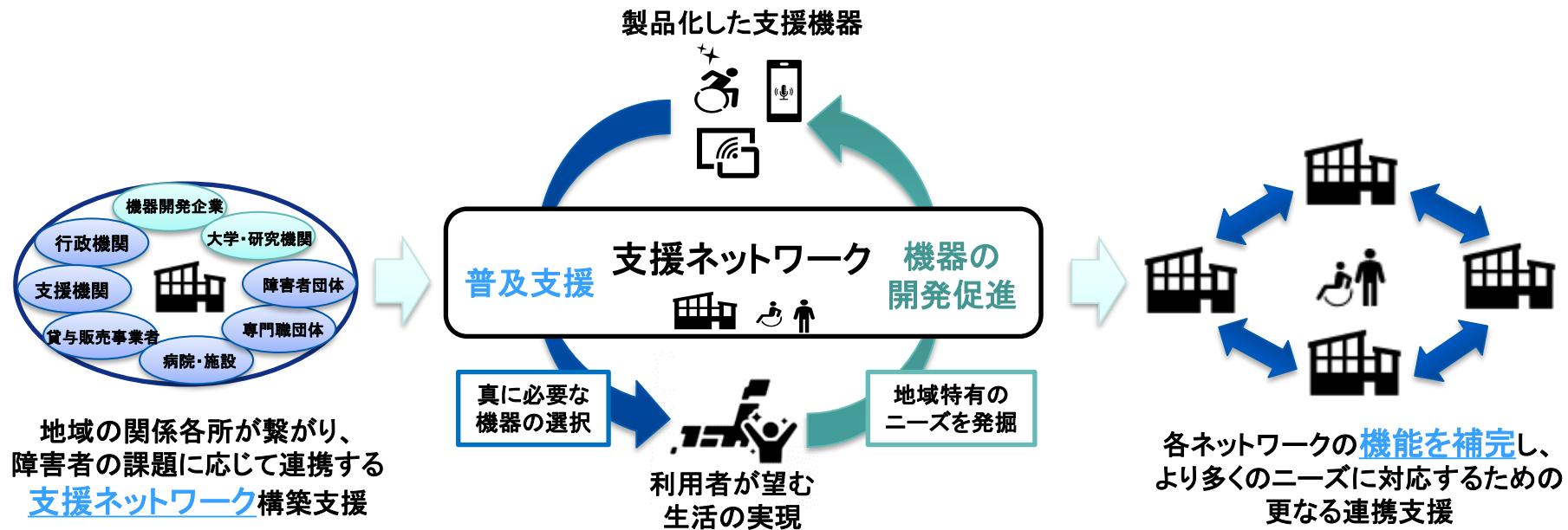
<目的>

- ・障害者等が真に必要とする製品を選択し、適切に使用できるよう機器の特徴や使い方等を普及・周知することで支援機器の活用を加速させる。
- ・日常生活の中から地域の潜在ニーズを発掘し、支援機器開発の促進を図る。

・地域の支援ネットワークの構築と促進

・支援ネットワークの登録促進と活動支援

・支援ネットワーク同士の連携を促進



＜支援ネットワークの役割＞

- ・障害者の支援機器に関する**相談窓口の設置**
- ・支援機器を上手く使えるような機器の**適合調整**
- ・障害者の為の**支援機器の展示、貸出**
- ・地域の**関係各所と連携した段階的かつ重層的な支援の実施**
- ・普及及び開発に関連する**講習会の実施**
- ・地域特有の潜在ニーズの発掘と**機器開発**

活用支援の役割



開発支援の役割

令和7年度 支援ネットワークの登録状況

支援ネットワーク(7か所)

<支援機器全般の活用・開発>

- ・石川県リハビリテーションセンター※
- ・名古屋福祉用具プラザ※
- ・横浜市リハビリテーションセンター
- ・愛媛支援機器つながる連絡会

開発含めた拡大を目指す

<支援機器全般の活用>

- ・株式会社アシテック・オコ(和歌山)
- ・かがわ総合リハビリテーション事業団
- ・鹿児島支援機器つながる連絡会

連携・登録を目指す

<候補>

- ・佐賀難病支援ネットワーク
- ・静岡パラスポーツで支援をつなぐネットワーク

障害者自立(いきいき)支援機器普及アンテナ事業
(地域生活支援事業)と連携

支援機器に関する相談窓口を設置し、地域における関係機関と連携を図りながら、課題の解決及び利活用事例の普及を図る事業
※の事業者は、いきいきアンテナ事業を実施。

地域の特性や資源を活用してネットワーク作り



しづおかパラフットボール

「困りごと」「想い」の共有



用具の仕様
特別な道具のルール



練習環境
場所や方法の課題



ルール・制度
競技の決まりごと

これらの「見えない壁」に、選手たちは情熱と工夫で立ち向かっています。

パラフットボール選手・関係者の声



CPサッカー

脳性まひ選手向け



アンブティサッカー

切断者向け、ロフストラックラッチ杖でプレイ



ブライントサッカー

視覚障がい者向け、音でボールを追う



電動車椅子サッカー

電動車椅子で操作

常葉大学村岡先生の資料より引用

＜全国構築目標＞

持続可能な機器活用・開発促進する支援ネットワーク: 10か所

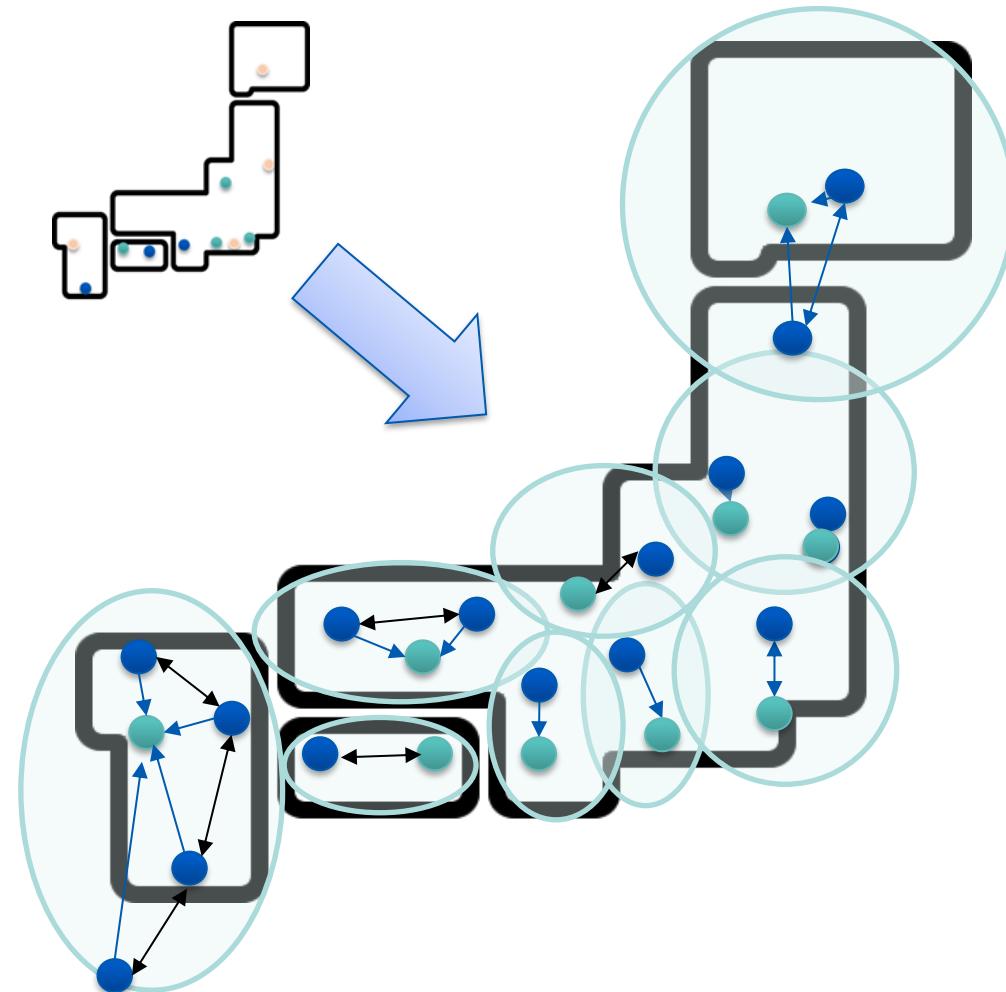
令和7年: 4か所



令和12年: 7か所



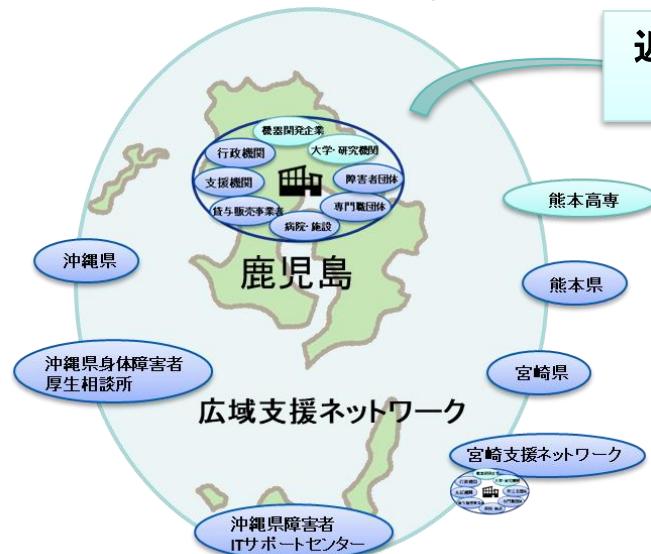
令和17年: 10か所



支援ネットワーク構築のイメージ（鹿児島の例）

鹿児島の例

(中核・広域支援ネットワークの構築)



近隣県への支援の輪を拡大し
地域の連携を強化

行政機関を含めた支援ネットワーク
構築による支援体制の強化



連携ネットワークを活用した
全国支援体制の確立

